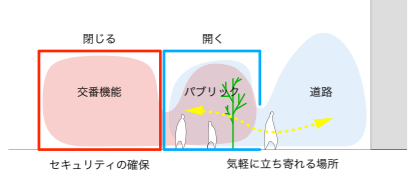




街並みに配慮した親しみのあるファサード

テーマ1 親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり

交番と地域をつなげるバッファゾーン



客溜まり土間は計画・機能・構造や設備などすべてのバッファゾーンとしての役割をもちます。背反する目的を持った場所を明確に分けつつ両者を繋げ、交番と地域との円滑な関わり合いを促します。

公共性とセキュリティ

街に溶け込む公共空間としっかりと管理できる執務空間をつくります。地域の安全を担う機能面は明確にゾーニングすることで公共性とセキュリティを両立します。

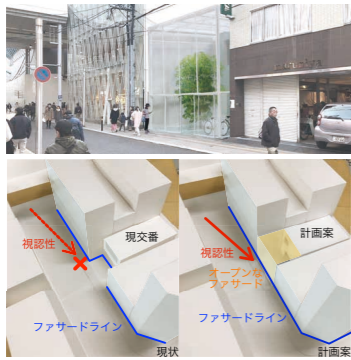
柔軟に対応できる平面計画

明快な構成の平面計画であるためフレキシブルな調整が可能です。今後警察本部や関係各所との対話によって柔軟にプラン検討を行います。

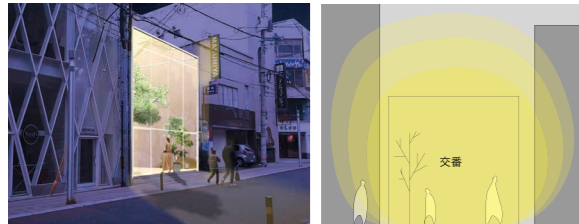
テーマ2 周辺環境と調和した良好な景観の形成に資する魅力ある施設づくり

周辺環境との調和

ひろしま都市活性化プランに基づいて周囲の街並みとの連続性をもたせ、にぎわいや交流が生まれる地域として本施設も明るく開かれた外観とします。周囲の街並みと調和できるよう平面案を検討し敷地いっぱいに明るいファサードを設けます。



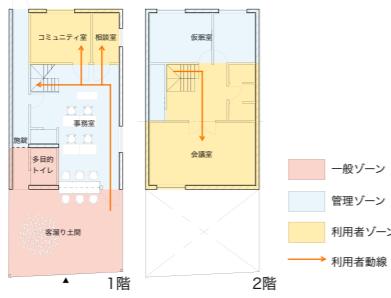
街の広場、街の灯籠



半屋外的な公共空間は屋の間には街の広場のように明るく開かれた空間となります。また夜の間は街を照らす灯籠になり24時間地域の安心できる場所となります。

セキュリティゾーニング

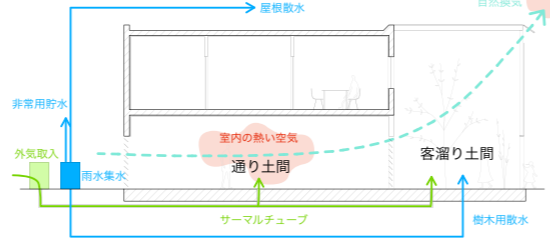
一般の方が気軽に立ち寄れる客溜まり部とセキュリティの確保が求められる事務室が明確に別れています。日常的に一般の方が利用するコミュニティ室や相談室は事務室を介してアプローチするため、セキュリティに配慮したレイアウトとし、明確に通路を確保します。



機能的な構造計画

セキュリティが必要な事務スペース部分は堅牢なRC造とし、客溜まり土間部分は軽量な鉄骨造とします。RC部分に水平力を負担させることにより、鉄骨造部分は躯体量を縮減します。

自然エネルギーを利用した設備計画



客溜まり土間の排煙窓と通り土間で換気動線をつくり建物全体の熱環境を調整します。一年を通して地熱利用で地中の一定な熱を居室や客溜まり土間に取り込みます。また雨水利用による屋根散水や樹木への散水によりランニングコストを低減できます。

女性や子供にも利用しやすい交番



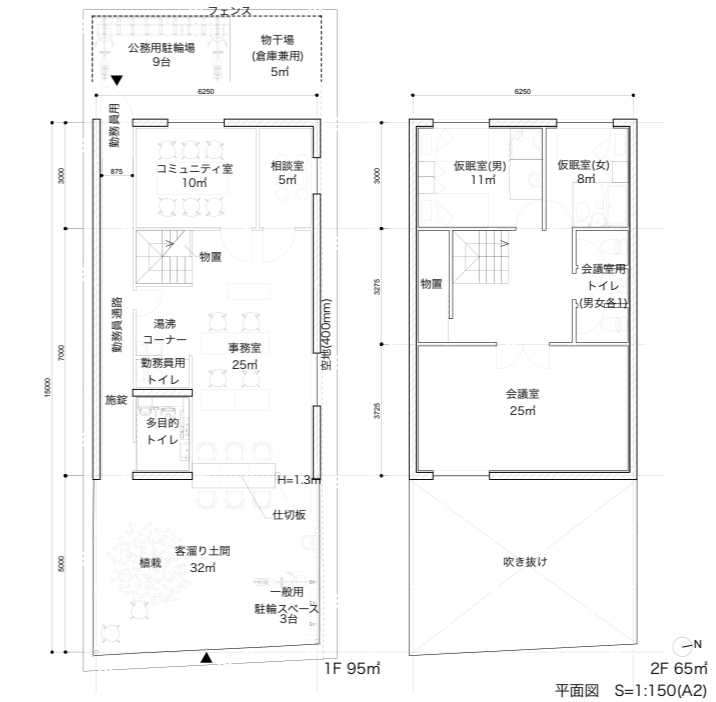
コスト縮小の取り組み

パッシブエネルギーを積極的に利用し維持管理しやすくすることでライフサイクルコストを低減します。長寿命を目指した躯体と簡易的でフレキシブルな二次部材など、コスト配分にメリハリをつけ費用対効果を高めます。建築・構造・設備のトータルバランスによりインシナルコストのコントロールをおこないます。コスト管理は建築・構造・設備事務所の各チームでそれぞれチェックを行います。設計初期から運用者との対話を密に行い、施設の運用ニーズを的確に把握・整理します。近年の建設工事費変動の傾向を意識し、市場動向の注視、高騰傾向の建材採用の回避、安定供給が見込まれる部材や工場製品などを多用することで価格変動に左右されない質実剛健な設計仕様を目指します。



地域とつながる 土間のある交番

地域の人たちが気軽にやってこれる中間領域としての土間をもつ交番を提案します。親しみやすさと厳格さ、町並みと調和しつつも目立つ力強さ、というように交番には様々な背反する側面が求められています。それらを大きく包み込み同時に達成するような公共空間を持った新しいタイプの交番です。この明るく開放的な土間は交番の一部ですが、町の一部でもあります。警察官によってしっかりとコントロールされ、かつ市民が親しみを持って気軽に利用できる場所です。温熱環境や汚れ対策に十分に配慮した半外部空間として、交番としての機能を果たしつつ、市民に頼られる公共空間です。そうやって多くの市民が「自分の場所」だと思える公共空間は、有事の際には頼れる地域の安全の拠点として機能すると考えます。町並みと連続し周辺に溶け込みながらも、しっかりと地域を見守る公共空間をもった新しい交番として、広島を発信できる魅力ある交番を目指します。



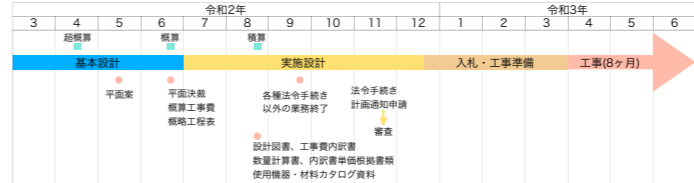
概算工事費

項目	金額(円)
主要庁舎部	
建築工事	56,700千円
電気設備	4,700千円
機械設備	8,700千円
客溜まり部	
建築工事	17,000千円
設備工事	1,000千円
外構工事	フェンス等 1,000千円
概算総工事費(税抜)	89,100千円

面積表

	1階(㎡)	2階(㎡)
客溜まり土間	32	会議室 25
事務室	25	トイレ 6
相談室	5	仮眠室(男) 11
コミュニティ室	10	仮眠室(女) 8
湯沸室	3	物置 4
トイレ	5	廊下 11
共用部	15	計 65
計	95	面積合計(㎡) 160

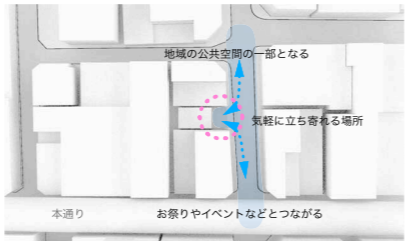
スケジュール



コスト管理：設計初期段階から各段階でコストコントロールを続けることで目標金額とのズレがないようにします。基本設計時から建設工事費と維持管理費の概算を把握し、継続的なコストコントロールに努めます。
スケジュール管理：チェックリストによる進行の常時チェックをおこない、設計チームの緊密な連携によるスケジュール管理をおこないます。
性能確保管理：対話により的確なニーズを把握します。また複数案の検証による妥当性の確認をおこないます。



街に溶け込む交番



街の公共空間とひとつづきの場所にします。商店街のお祭りやイベントなどにも自然とつながっていく場所となることで、地域に開きつながっていく交番になります。

まちぐるみの安全な環境づくり



都市の公共空間を交番に内包することで、交番を地域に溶け込ませます。また、設計段階においても地域住民の意見をヒアリングしワークショップで意見交換をします。模型を使った具体的な議論や、設計オプションの検討など地域の人々の意見も取り入れながら一緒に作り上げていくことで、一人一人が個人の安全だけでなく地域の安全を考えるきっかけにもなります。

多様な魅力を受け入れる新しい交番のシンボル

広島重要な領域が重なりあう立地において、多様な魅力を受け入れることのできる交番を目指します。地域住民や様々な人が交流できる公共性の高い空間をつくることで新しい交番のシンボルとなります。交番の持つイメージを変え広く拡散することができます。

